

2024年8月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社チームスピリット
 コード番号 4397 URL <https://corp.teamspirit.com/ja-jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 道下 和良
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役COO (氏名) 虎見 英俊 TEL 03-4577-7510
 定時株主総会開催予定日 2024年11月29日 配当支払開始予定日 -
 有価証券報告書提出予定日 2024年12月2日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年8月期の連結業績（2023年9月1日～2024年8月31日）

（1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期	4,421	16.1	△87	—	△89	—	△180	—
2023年8月期	3,809	16.8	△219	—	△226	—	△189	—

（注）包括利益 2024年8月期 △178百万円（-%） 2023年8月期 △182百万円（-%）

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年8月期	△10.96	—	△13.7	△2.5	△2.0
2023年8月期	△11.57	—	△12.9	△6.6	△5.8

（参考）持分法投資損益 2024年8月期 -百万円 2023年8月期 -百万円

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年8月期	3,692	1,229	33.3	74.74
2023年8月期	3,516	1,392	39.6	84.86

（参考）自己資本 2024年8月期 1,229百万円 2023年8月期 1,392百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年8月期	68	107	△0	2,543
2023年8月期	△6	△49	△0	2,364

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額（合計）	配当性向（連結）	純資産配当率（連結）
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年8月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2025年8月期の連結業績予想（2024年9月1日～2025年8月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,000	13.1	150	—	150	—	105	—	6.39

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2024年8月期	16,451,600株	2023年8月期	16,408,100株
2024年8月期	8,915株	2023年8月期	4,615株
2024年8月期	16,426,135株	2023年8月期	16,352,293株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年8月期の個別業績（2023年9月1日～2024年8月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期	4,421	16.1	△118	—	△141	—	△126	—
2023年8月期	3,809	16.8	△250	—	△245	—	△203	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期	△7.69	—
2023年8月期	△12.45	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	
2024年8月期	3,510	1,206	1,206	1,206	34.4	73.35	
2023年8月期	3,400	1,317	1,317	1,317	38.7	80.31	

(参考) 自己資本 2024年8月期 1,206百万円 2023年8月期 1,317百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(1株当たり情報)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「すべての人を、創造する人に。」のミッションのもと、勤怠管理、工数管理、経費精算、電子稟議等の社内業務システムのクラウドサービス「チームスピリット」(注1)等及びAI議事録ソリューション「Synclog」等を提供しております。

当社グループが提供するサービス領域における短期的な事業環境といたしましては、フルリモートワークやハイブリッドワーク等の多様な働き方への対応が求められるようになったことで、高度な「勤怠管理」への需要は継続的に高い関心を集めております。また、最近では、労働時間の正確な把握だけでなく、仕事の見える化によるチームの活性化や非対面でのマネジメントの最適化を可能にする「工数管理」への需要も高まっています。

中長期的な事業環境といたしましては、人的資本経営に対する関心の高まりを背景に、多様で生産性の高い働き方の実現や、従業員エンゲージメントの向上に注力する企業が増加することが予想されます。また、特にエンタープライズ企業(注2)では、2000年頃に一斉導入されたERP並びに、それに付随したデータのエントリー機能を担う「勤怠管理システム」や「経費精算システム」といったERPのフロントウェアシステムのリプレイス需要が高まっています。従来、エンタープライズ企業では、これらのシステムは各社独自の仕様で構築されるケースが一般的でしたが、昨今は更新投資やシステム保守費をかけることなく最先端のサービスを利用することができるSaaS(注3)への関心が高まっています。

このような事業環境の下で、当社グループは中期戦略として①エンタープライズセグメントでの成長加速、②ミッド・スモールセグメントでの成長維持、③新規領域の創出、の3点を基本戦略として取り組んでおります。また、2024年8月期においては、「Growth & Efficiency」を重点戦略とし、ARR成長を最優先としながらも、収益性の改善に向けて経営効率を高めるための施策に注力いたしました。

2024年8月期の経営成績は以下のとおりです。

ライセンスの受注状況に関して、エンタープライズ企業の新規受注や追加受注が成長を牽引したことで、当連結会計期間における契約ライセンス数の純増は88,803ライセンスとなり、累計の契約ライセンス数は545,519ライセンス(前連結会計年度末比19.4%増)となりました。これに伴い、ARR(注4)の純増は479百万円となり、累計では3,836百万円(同14.3%増)となりました。また、契約社数の増加は167社となり、累計で1,967社となりました。

当連結会計年度における売上高は4,421百万円(前連結会計年度末比16.1%増)となりました。ライセンス売上高は3,588百万円(同15.4%増)、プロフェッショナルサービス売上高は導入プロジェクトの受注が引き続き堅調に積み上がったことで833百万円(同19.0%増)となりました。営業損失は売上高の増加に伴う仕入高や業務委託費の増加、採用の進展及び人件費や社内インフラ費用の増加、展示会への積極的な出展による広告宣伝費の増加により87百万円(前連結会計年度は営業損失219百万円)となりました。親会社株主に帰属する当期純損失はシンガポール子会社の事業縮小に伴う特別損失を計上したことにより180百万円(前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純損失189百万円)となりました。

なお、当社グループはSaaS事業の単一事業であるため、事業セグメント別の記載を省略しております。

(注1) チームスピリット:大企業向けの「TeamSpirit EX」及び、幅広い企業規模で利用可能な「TeamSpirit」の2つの製品で構成。

(注2) 企業規模毎の定義は以下のとおり。

名称	定義
エンタープライズ企業	従業員が1,000名以上の企業
ミッド企業	従業員が200～999名の企業
スモール企業	従業員が199名以下の企業

(注3) SaaS:Software as a Serviceの略称で、サービスとしてのソフトウェアを指す。クラウドサーバーにあるソフトウェアを、インターネットを経由して利用できるサービス。

(注4) ARR:Annual Recurring Revenueの略で、集計基準日時点の「チームスピリット」(関連製品を含む)のライセンス収入から得られる月間収益の合計を12倍したものの。

(2) 財政状態に関する説明

当連結会計年度末における総資産は3,692百万円となり、前連結会計年度末から176百万円増加しました。

(流動資産)

当連結会計年度末における流動資産は3,123百万円となり、前連結会計年度末から248百万円増加しました。これは主に、現金及び預金の増加によるものです。

(固定資産)

当連結会計年度末における固定資産は569百万円となり、前連結会計年度末から72百万円減少しました。これは主に、旧日本の敷金が返還されたことによるものです。

(流動負債)

当連結会計年度末における流動負債は2,463百万円となり、前連結会計年度末から339百万円増加しました。これは主に、繰延収益の増加とシンガポール子会社の事業縮小に伴う事業再編費用引当金の計上によるものです。

(固定負債)

当連結会計年度末における固定負債はありません。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は1,229百万円となり、前連結会計年度末から163百万円減少しました。これは主に、譲渡制限付株式報酬としての新株発行により資本金と資本剰余金が増加したものの、親会社株主に帰属する当期純損失を計上したことにより利益剰余金が減少し、結果として減少したものです。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は2,543百万円となり、前連結会計年度末に比べ178百万円増加（前連結会計年度比7.5%増）しました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は68百万円（前連結会計年度は6百万円の支出）となりました。これは主に、税金等調整前当期純損失201百万円を計上した一方で、受注拡大に伴い繰延収益を195百万円、シンガポール子会社の事業縮小に伴う事業再編費用引当金112百万円を計上したことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果獲得した資金は107百万円（前連結会計年度は49百万円の支出）となりました。これは主に、敷金及び保証金の返還によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は0百万円（前連結会計年度は0百万円の支出）となりました。これは主に、譲渡制限株式の発行手数料によるものです。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年8月期も引き続き、エンタープライズセグメント及びミッドセグメントを中心に新規・追加ライセンス受注の最大化と解約率の低下に取り組み、14%程度のARR成長を計画しております。

営業損益について、当連結会計年度においては、成長投資を継続しつつも投資対効果の見極めを厳密に行いながら、コストコントロールを効かせてきました。2025年8月期についても引き続き、新規領域を中心に必要な成長投資を継続しながらも、当連結会計年度からの経営効率改善の施策効果により、営業損益が大幅に改善し営業黒字化を見込んでおります。黒字転換については、売上高増加やシンガポール子会社の事業縮小及び、広告宣伝費の見直しなどコスト合理化で得た利益を、組織強化のための人件費や新規領域の立上げなどの戦略予算に配分しながらも、2025年8月期において150百万円以上の黒字を確保する計画です。

以上により、2025年8月期の業績予想は、売上高5,000百万円（うちライセンス売上高4,100百万円）、営業利益150百万円、親会社株主に帰属する当期純利益105百万円を見込んでおります。

なお、連結業績予想につきましては、現在入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは国内の同業他社との比較可能性等を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当連結会計年度 (2024年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,364,904	2,543,387
売掛金及び契約資産	42,656	46,698
前渡金	325,985	359,734
その他	142,526	174,666
貸倒引当金	△801	△972
流動資産合計	2,875,270	3,123,514
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	67,835	2,638
減価償却累計額	△67,835	△274
建物附属設備 (純額)	—	2,363
その他	33,232	16,973
減価償却累計額	△29,937	△7,972
その他 (純額)	3,295	9,001
建設仮勘定	9,344	—
有形固定資産合計	12,639	11,364
投資その他の資産		
繰延税金資産	462,092	502,627
その他	166,735	55,465
投資その他の資産合計	628,827	558,093
固定資産合計	641,467	569,458
資産合計	3,516,737	3,692,973
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,890	9,075
未払法人税等	25,949	18,803
繰延収益	1,568,939	1,764,085
賞与引当金	57,066	64,170
事業再編費用引当金	—	111,525
その他	466,849	496,273
流動負債合計	2,124,695	2,463,933
負債合計	2,124,695	2,463,933
純資産の部		
株主資本		
資本金	833,320	840,824
資本剰余金	823,320	830,824
利益剰余金	△281,113	△461,214
自己株式	△509	△509
株主資本合計	1,375,018	1,209,925
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	17,022	19,113
その他の包括利益累計額合計	17,022	19,113
純資産合計	1,392,041	1,229,039
負債純資産合計	3,516,737	3,692,973

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
売上高	3,809,551	4,421,949
売上原価	2,442,710	2,768,673
売上総利益	1,366,841	1,653,275
販売費及び一般管理費	1,586,654	1,740,608
営業損失(△)	△219,813	△87,332
営業外収益		
補助金収入	547	694
その他	133	1,855
営業外収益合計	680	2,550
営業外費用		
為替差損	6,714	3,652
株式交付費	790	628
その他	61	65
営業外費用合計	7,566	4,346
経常損失(△)	△226,699	△89,128
特別損失		
投資有価証券評価損	49,999	—
本社移転費用	19,252	—
事業再編費用	—	112,597
特別損失合計	69,252	112,597
税金等調整前当期純損失(△)	△295,951	△201,726
法人税、住民税及び事業税	37,064	18,909
法人税等調整額	△143,825	△40,535
法人税等合計	△106,760	△21,626
当期純損失(△)	△189,190	△180,100
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△189,190	△180,100

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
当期純損失(△)	△189,190	△180,100
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	6,635	2,090
その他の包括利益合計	6,635	2,090
包括利益	△182,555	△178,009
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△182,555	△178,009

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	813,375	803,375	△91,922	△509	1,524,319	10,387	10,387	1,534,706
当期変動額								
新株の発行	19,945	19,945			39,890			39,890
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△189,190		△189,190			△189,190
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						6,635	6,635	6,635
当期変動額合計	19,945	19,945	△189,190	—	△149,300	6,635	6,635	△142,664
当期末残高	833,320	823,320	△281,113	△509	1,375,018	17,022	17,022	1,392,041

当連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	833,320	823,320	△281,113	△509	1,375,018	17,022	17,022	1,392,041
当期変動額								
新株の発行	7,503	7,503			15,007			15,007
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△180,100		△180,100			△180,100
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						2,090	2,090	2,090
当期変動額合計	7,503	7,503	△180,100	—	△165,093	2,090	2,090	△163,002
当期末残高	840,824	830,824	△461,214	△509	1,209,925	19,113	19,113	1,229,039

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失 (△)	△295,951	△201,726
減価償却費及びその他の償却費	56,463	4,367
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	609	170
賞与引当金の増減額 (△は減少)	34,818	7,103
事業再編費用引当金の増減額 (△は減少)	—	112,597
受取利息	△22	△251
補助金収入	△305	△672
株式交付費	790	628
投資有価証券評価損益 (△は益)	49,999	—
本社移転費用	19,252	—
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△25,495	△4,042
前渡金の増減額 (△は増加)	△40,477	△33,748
仕入債務の増減額 (△は減少)	△607	3,185
繰延収益の増減額 (△は減少)	150,607	195,145
その他	49,716	24,894
小計	△601	107,651
利息の受取額	22	251
補助金の受取額	306	672
法人税等の支払額	△6,418	△40,326
営業活動によるキャッシュ・フロー	△6,691	68,248
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△710	△4,314
原状回復による支出	—	△25,123
敷金及び保証金の回収による収入	—	138,559
敷金及び保証金の差入による支出	△49,006	△1,680
投資活動によるキャッシュ・フロー	△49,716	107,441
財務活動によるキャッシュ・フロー		
その他	△790	△628
財務活動によるキャッシュ・フロー	△790	△628
現金及び現金同等物に係る換算差額	12,890	3,420
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△44,306	178,482
現金及び現金同等物の期首残高	2,409,211	2,364,904
現金及び現金同等物の期末残高	2,364,904	2,543,387

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当連結会計年度において、譲渡制限付株式報酬としての新株発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ7,503千円増加し、当連結会計年度末において資本金が840,824千円、資本剰余金が830,824千円となっております。

(セグメント情報等)

当社グループは、SaaS事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
1株当たり純資産額	84.86円	74.74円
1株当たり当期純損失(△)	△11.57円	△10.96
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	—

(注) 1株当たり当期純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△189,190	△180,100
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△189,190	△180,100
普通株式の期中平均株式数(株)	16,352,293	16,426,135
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。